

平成 25 年 4 月 12 日

平成 25 年度 一橋大学経済学部  
グローバル・リーダーズ・プログラム

「ドイツ・ブルガリア短期海外調査」の実施について（募集）

1. 趣旨と背景

- 経済学部では、平成 25 年度 4 月より「グローバル・リーダーズ・プログラム」が本格始動します。本プログラムでは、経済学の専門的知識とともに、グローバル経済の現実感覚を備え、自ら世界の諸課題の発見と解決に努め、優れたコミュニケーション能力を持って多様な国々の人々と対話できるリーダーの育成を目指しています。
- 本プログラムの一環として、平成 25 年度には、ドイツ（フランクフルト、デュッセルドルフ）およびブルガリア（ソフィア）への短期海外調査を行います。この調査では、ソフィア大学での討論会、日系企業へのヒアリング調査、ドイツにおける企業活動現場訪問などを通じて、EU 経済の実情と両国経済の変化、外国直接投資による現地経済への波及効果、等について今後の展望を調査します。一連の調査活動を通じて、学部学生の問題意識及び動機づけの向上を図ることをめざします。
- 本調査は、三井住友銀行寄附講義「EU におけるガバナンスと経済運営」および概算要求事業「EU 経済分析者養成プログラム（ともに平成 25 年度～27 年度）の主たる柱である参加型実地教育として実施されます。
- 参加を希望する皆さんは、平成 25 年 4 月 16 日（火）の「基礎ゼミ」（村田奈々子先生担当、夏学期、火曜・5 時限、35 番教室）の履修を（教室で）申し出て下さい。（下記注意事項（応募要領）を参照）

2. 調査実施スケジュール案

2013 年 9 月 2 日（日）～9 月 12 日（水）10 泊 11 日（内機内一泊）

（今後の調整による変更あり）

（下記スケジュールは、今後ブルガリアおよびドイツ側、またその他関係者との調整により変更の可能性あり。以下、訪問先アレンジは本学にて対応。ドイツ滞在中、如水会デュッセルドルフ支部の方々と懇親の機会をもちます。）

〔1 日目〕 9 月 2 日（月）：

移動：成田→（経由地）→ブルガリア（ソフィア）

〔2 日目〕 9 月 3 日（火）：

午前：移動：→ブルガリア（ソフィア）着

午後：ソフィア市内見学（ソフィア）

〔3 日目〕 9 月 4 日（水）：

午前：ソフィア大学見学（ソフィア市）

午後：ソフィア大学との討論会（同上）（夕食アレンジは本学対応）

[4日目] 9月5日(木)

午前：ソフィア市内見学(ソフィア市)

午後：ソフィア市内見学(同上)

[5日目] 9月6日(金)：

移動：ソフィア→(経由地)→デュッセルドルフ

[6日目] 9月7日(土)：

デュッセルドルフ市内・企業見学、資料整理

[7日目] 9月8日(日)：

デュッセルドルフ市内見学

[8日目] 9月9日(月)：

デュッセルドルフ市内・企業見学、資料整理

[9日目] 9月10日(火)：

デュッセルドルフ市内・企業見学

[10日目] 9月11日(水)：

移動：デュッセルドルフ→(経由地)→

[11日目] 9月12日(木)：

移動：→成田

### 3. 調査内容(暫定)

- ソフィア大学：EUの社会と経済についての討論会
- ブルガリア経済の現状と課題：西欧圏からの投資とその波及効果
- ドイツ経済の現状調査：日系企業・現地企業視察

### 4. 支出経費概算(要確認)

- 参加学生の費用の一部に大学からの補助が出る予定。
- JCSOS緊急事故支援システム加入料は、同上経費より支出予定。

### 5. 注意事項(応募要領)

- 「海外調査A」(通年4単位、水曜・5時限)の履修登録を前提とし、原則として村田先生担当の「基礎ゼミ」(夏・冬開講、いずれか履修し2単位)とセットで運営します。
- しかし、海外渡航が困難な一部学生については基礎ゼミのみの参加を認めます。
- 調査作業の工程上、村田先生担当の基礎ゼミは、いずれかの学期に履修登録しますが、作業は通年になります。
- 選考スケジュール、は以下の通りです。
  1. 4月16日(火)5時限の基礎ゼミ(村田先生担当)で「説明会」を行います。  
※旅費の見込み(負担額の見込み)等について説明します。
  2. 4月23日の基礎ゼミ時に以下の書類を提出して下さい。
    - ①応募理由(2000~3000字程度、学籍番号・氏名・住所・連絡先等を明記)

②成績表のコピー

3. 応募者多数の場合は、選考を行います（原則 10 名を予定しています）。  
選考結果は、4 月 25 日（木）に発表します。